

会報

つちおと

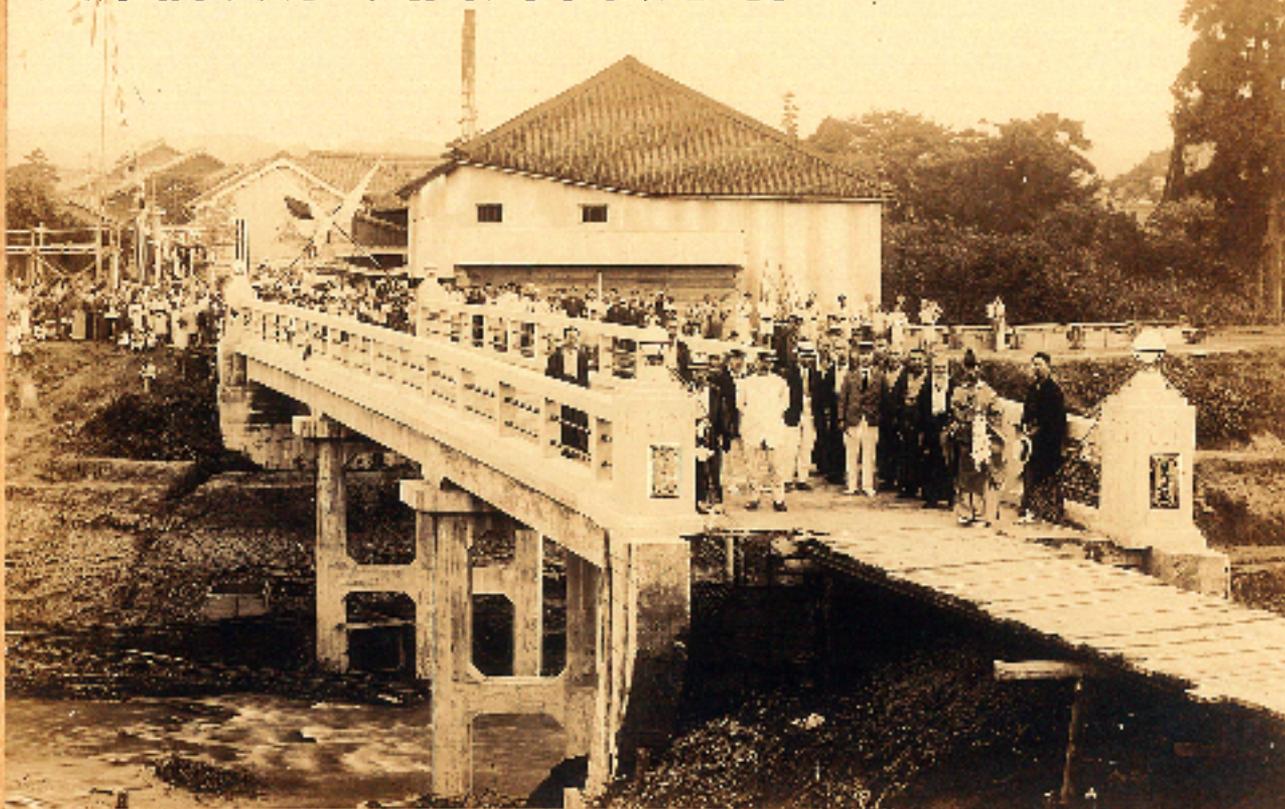
まけるな東北
建設業協会

第128号

平成25年8月

明治・大正・昭和期の建設工事写真シリーズ

奥姫橋竣工式（掛川市松尾町）昭和3年7月



(写真提供・施工/株式会社金田組)



◀現在の奥姫橋（平成25年7月撮影）



つちおとの
表紙を飾る写真 **大募集!**

掲載の方には
2,000円分の
図書カード進呈!

ご応募いただく際お預かりする
個人情報、掲載させていただ
いた方への図書カードの送付の
ために利用させていただきます。

◆テーマ・題材◆

静岡県内の明治・大正・昭和期の
建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入した
メモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご
持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION

(一社)袋井建設業協会



対談

松井掛川市長 鈴木袋井建設業協会会長

松井掛川市長



鈴木袋井建設業協会会長

東日本大震災の発生、さらに、高い確率で発生すると
言われている南海トラフ巨大地震。
住民の不安の高まりを背景に、災害に強い掛川市の実
現に力を注ぐ松井掛川市長と、建設産業が疲弊してい
中、地域の安全・安心を担う鈴木袋井建設業協会長との
会談を、6月14日(金)に実施しました。

建設業の現状について

社会情勢が大きく変化中、建設業の現状について説明願います。
【会長】 まず、建設投資額であります。ピーク時の80兆円から現在は40兆円と半分となり、競争の激化により厳しい経営努力を強いられています。特に、本県の建設業者の利益率は他の地域に比べて低い水準で推移しており、これが建設業従事者の給与の低下にもつながっています。

一方、就業者の年齢構成を見ますと、55歳以上の構成比が33%、29歳以下は10%となるなど高齢化が進行し、次世代を担う技術者、技能者の不足によって技術・技能の継承が懸念されています。また、雇用の縮小が地域経済に少なからず影響を及ぼしていると思います。

こうした中、国交省は建設産業の再生に向け、公共工事設計労務単価のアップをはじめとする各種支援策を打ち出しています。こうした動きが隅々まで波及していないのが実態であります。

また、一部の建設業者による不適正な行為が建設業全体に影響を与えておりまして、世間一般の建設業へのイメージは決して良好なものとは言えません。建設業の地位が低下してきていることを感しています。

市民の建設業に対する認識、そして今後の公共事業のあり方などについて、ご感想とかご意見をお聞かせ願います。

【市長】 建設業が置かれている厳しい状況については、十分に理解しているつもりです。市でも、優良建設工事の表彰などを

かないために、国と県にしっかりと対応してもらうことが必要です。

あらゆる機会を捉え国や県に対して働き掛けを行っていますが、優先度を考慮した場合、浜松市に見られるような住民の積極的な姿勢と工夫が必要であると考えています。

具体的な津波対策としては、まず太平洋岸自転車道を南海トラフ巨大地震で想定される津波高「レベル2」に合わせて整備することです。また、菊川の河口についても現在国で整備が進んでいますが、こちらも想定津波高「レベル2」の高さまで対応できるような整備計画をアナウンスするなど、国はできるだけ早い時期に安心できるメッセージを出してもらいたいと思っています。

一方、内陸部については、橋梁の耐震化の問題や山の土砂災害への対策が重要であります。掛川は、土砂災害の危険エリアに指定されている所が約600カ所もあり、対策をしっかりとしていかなければと思っています。

また、県が提唱している内陸フロントエリア構想を推進する上でも、内陸部を災害に強い体質にすることが大切です。掛川市では内陸部の活性化を図るため、フロントエリア構想以前から第2東名のパーキングエリア、スマートインターチェンジ、原田の農地・工業団地などの整備を推進していますが、現在、内陸フロントエリア構想に併せ、環状線の整備を県に要望しているところです。

入札契約制度について

国におきましては、担い手確保や行き過ぎた価格競争の是正など、疲弊する建設業

を通じて市民の皆様へ建設業の重要性を理解していただけるよう努めておりますが、市との「災害協定」締結に基づいた災害後の応急対策やインフラの復旧を担うことにより、建設業が、市民の生命・財産を守るためにはなくてはならない存在であることや、地域に貢献している姿をもっと市民の皆さんに知ってもらう工夫が必要であると思っています。

例えば、南海トラフ巨大地震等の災害発生に備えて市を挙げて行っている防災訓練に、建設業の皆さんが組織的に参加いただければ、より実践的で実効性の高い訓練が期待できますし、市民の理解も深まると思いますので、是非とも連携していただきたいと思っています。

次に、建設投資についてありますが、公共事業関連予算は減少傾向が続いていますが、本年度に限っては国の経済対策に呼応し、一体的に執行される補正予算と合わせ大幅な増加となる予算を編成することができました。しかし、社会保障費の伸びは著しく、このため人件費などの固定経費の削減を進めると同時に、安定財源の確保に向けた企業誘致を積極的に推進しているところでもあります。これが、これにも限界があり、国の社会保障制度の抜本的改革に期待しています。

このような厳しい財政状況下において建設投資額の拡大は難しく、事業の選択と集中によって効率的な公共事業の展開を図っていくことと考えています。

市の防災・減災対策について

災害に対する市民の意識はこれまでにならぬほど高まってきていると感じています。防災・減災対策の現状と今後の方向性

の再生に向けた入札契約制度の検討も進められていますが、掛川市の入札契約制度についてお話を伺いたいと思います。

【会長】 地元建設業者の受注機会につきましては、ご配慮をいただき感謝申し上げます。

掛川市では予定価格が事前公表されていますが見積もりをしない積算能力のない業者が応札したり、くじ引きが多発するなどの問題もあり、国では事前公表をしないよう要請しています。市としては事前公表の見直しについてどのようにお考えでしょうか。

次に、ダンピング対策についてですが、国、県では調査基準価格を設定し、低入札で応札した業者は、技術者、管理者を2名付けなければならぬなど、現場の管理が厳しく問われています。また、最低制限価格を上げる傾向にありますし、総合評価方式の導入に伴って調査基準価格が82%から85%に上昇させるなど、建設業の建て直しに向けた施策が講じられています。このような流れの中で、掛川市でもダンピング対策の導入について検討していただきたいと思っています。

また、中間前払い金制度について、本年度から実施していただけたと思いますが、いかがでしょうか。

【市長】 入札制度については、どのような制度にしても良い面、悪い面の両面が出てきます。予定価格の公表については、事前公表したほうが良いかと思いましたが、只今の会長のお話をお聞きして、今後の対応について検討していきたいと思っています。それから、中間前払い金については、以前お

などについてお話を伺います。

【市長】 東日本大震災の発生以降、必要な防災基盤整備や防災体制整備において、やるべきことはやってこれたのではないかと思います。

市民の安心・安全が最優先であります。23年10月に緊急地震津波対策4カ年計画」を定め、小中学校の校舎の耐震補強や消防署の建て替えなど、それまでは10年間かかると思っていたものを前倒しして、3年間という短い期間に集中して整備を進めています。また、今月末には、県で第4次被害想定が示されますが、これに対しては防災計画を見直しながら対応していくことになります。

その中でも、市として早急に取り組まなければならないのは、海岸線10キロの津波対策であると考えています。私は、3回に渡り東日本大震災の被災地を訪問しましたが、復旧・復興については基本的には震災当初と変わっていないというのが印象です。

確かに、国が防潮堤を作ったり、港の修復をするなど直轄事業が行われているところは復旧が進んできましたが、市町など基礎自治体が居住地の整備を進めているところは殆ど震災直後と変わっていません。最低10年はかかるのではないかと考えています。

本市に置き換えて考えても、沿岸部の生活者や企業は10年間も待てません。事後の復興対策よりも事前の防災・減災対策の方が費用は少なく済み、人的・物的被害も比較にはなりません。沿岸部に居住する方や企業の皆さんが、安心して生活や生産活動をしていただくため、沿岸部の空洞化を招

話をお聞きしており、現在進めています。ダンピング対策については、どこまでの線がダンピングとするのかを判断する必要があります。実態を調べながらどのような対応が適しているか検討課題であると思っています。

いずれにしましても、下請けの業者さんに多大な負担がかからないようにすることはもちろん、適正ラインを保ちながら制度を運用していきたいと考えています。

最後に

【会長】 建設業者は今、窮地に陥っていることは確かであり、これから工事が増加することはないと考えています。我々建設業者は発注者から信頼されなければならぬし、発注者も信頼できる業者に発注するという信頼関係が構築できるように努力していきたいと思っています。



●司会は(株)川島組社長川島達也さんです。



建設STATION

「きらりんタワー」(袋井市津波一時避難施設)

写真提供 / 袋井市役所



杭工事



基礎工事



鉄骨工事

【施設説明】

東日本大震災は、想定を超える津波の発生などにより、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。特に、津波の恐怖は私たちの脳裏に鮮明に焼き付き、そして、心に深い悲しみと恐怖を残しました。

袋井市では、早々、この震災を教訓として「袋井市津波避難計画」を策定するとともに、公共施設はもとより民間事業所の方々にもご協力をいただき一時避難場所を確保するなど、まさに市民との協働による様々な津波対策事業を進めております。

このような中で、海岸から約1.4kmに位置する「浅羽南幼稚園」や「あさば保育園」では、津波による浸水被害が心配され、子ども達の安全を確保するための一時避難施設の整備が急務となっておりましたことから、早急に整備を進め、このたび本市で初となる津波避難タワーが完成しました。

このタワーが、未来を担う子ども達のキラキラ輝く命を守り、健やかな成長を育むとともに、地域の皆様方に安全と安心を与える施設となっていくことを願っています。

(袋井市役所)



完成 屋上



避難訓練の様子

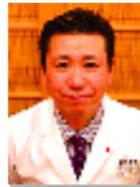
【名 称】	平成24年度 浅羽南地区津波避難タワー設置工事
【工事箇所】	袋井市松原地内
【発注者】	袋井市長 原田英之
【施工者】	株式会社 鈴木工務店 現場代理人 安間英樹
【工 期】	平成24年7月27日～平成24年12月7日

構造	鉄骨造
敷地面積	約700m ²
高 さ	海拔12m(地盤海拔2.2m+地上高9.8m)
収用面積	162m ² (最上部避難スペース面積)
収容人員	約270人(m ² 当たり、大人1名・子供2名で積算)
階 段	2ヶ所(幅員1.2m・踏面26.0cm・蹴上げ14.4cm)
スロープ	1ヶ所(勾配9%・幅員1.5m)
太陽光照明	18基(最長点灯時間12時間)

街の おすすめ



KAPPO DINING 「おんぶう」



ふじのくに
食の都づくり仕事人
「新日本料理おんぶう」
店主 高木一樹さん

今回ご紹介するお店は、掛川市に五月二十三日にオープンした「割烹ダイニングおんぶう」です。

このお店を運営するのは、菊川市にある高級割烹料理店「新日本料理おんぶう」店主高木一樹さんです。

高木さんは静岡県農林水産業振興会より、県内の食文化の振興に貢献している料理人二百人に選ばれ、「ふじのくに食の都づくり仕事人」として表彰されるほどの実績の人物です。そんな店主が高級割烹料理を極限まで安く提供することに挑戦した力ジュアル居酒屋が「割烹ダイニング おんぶう」です。



「かねぶく」の辛子明太子茶漬け



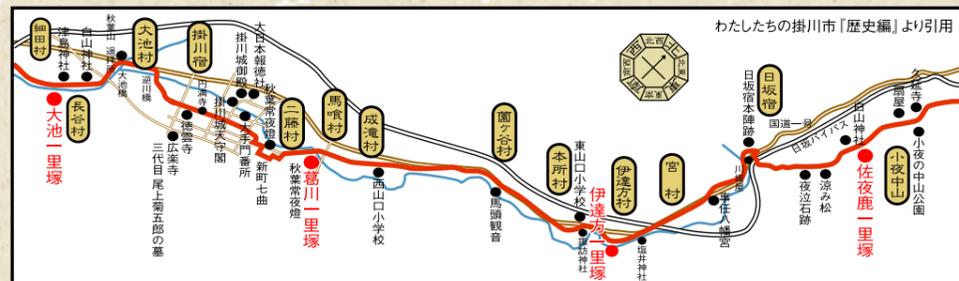
たわら屋特製掛川牛A5ローストビーフの炙り

全て手作りにこだわる季節料理が常時70〜80品揃い、毎日、数量限定で登場する旬の食材を使用した「超おこく」な一品も見逃せません。お酒にあう多種多様な料理を、お手頃価格で堪能してみたいかがでしょうか？



プレミアムモルツ	¥380
お料理1品	¥280〜
宴会コース	¥3,500
+飲み放題	¥1,500

KAPPO DINING 「おんぶう」
〒436-0091 静岡県掛川市城下4-5
電話/0537-21-0533
月〜木 18:00〜4:00
金・土 18:00〜5:00
日曜日定休
http://www.on-boot.com



一里塚を訪ねて 其二 掛川の巻

二回目の今回は、掛川市の二里塚を紹介いたします。掛川市には、佐夜鹿、伊達方、葛川、大池と四か所の二里塚があります。

佐夜鹿一里塚 江戸から五十八番目
佐夜鹿一里塚は、小夜の中山にあります。昔は道をばさんで両側に盛り土の塚があり、江戸時代には南側には榎、北側に松が植えられていました。明治になって切られてしまいました。現在は、盛土をして新しい松の木が植えられています。

伊達方一里塚 江戸から五十七番目
明治三十三年頃に取り壊されました。当時の一里塚は、直径七間、高さ三間の小山が南北に築かれ、場所も現在の位置から五メートルほど西側でした。現在は新しい石柱と一里塚の目印である松の木が植えられています。

葛川一里塚 江戸から五十八番目
馬喰橋を渡って左側(南側)のたもとに葛川一里塚があります。直径一メートルほど小さく盛り土され、一里塚らしい松の木と植栽を施されています。

大池一里塚 江戸から五十九番目
大池一里塚は、塚は残っていないく大池橋の前に一キロほど西の蓮祐寺の前「大池一里塚跡」の道標が建っているのみで一里塚の面影はありません。

協会活動報告

平成25年
3月～6月

総会

- 5/21(火) 平成25年度 定時総会
- 平成24年度 決算関係書類の承認
- 長期未収金の取扱
- 報告事項(24年度事業報告、25年度事業計画及び予算書、会員の入退会)



理事会

- 3/5(火) 平成24年度第9回理事会
- 県建設業協会理事会等の結果報告
- 静中理事会の結果報告
- 新規加入会員の承認
- 東日本建設業保証(株)創立60周年記念「建設業貢献助成事業」の申請
- 会員研修「伊勢神宮参拝」に係る御垣内参拝の実施
- 全中代表候補者の推薦
- 建産連会長表彰候補者の推薦
- 静岡県優秀施工者知事褒賞候補者の推薦
- 諸規程の改正及び規程集の作成ほか
- 4/25(木) 平成25年度 第1回理事会
- 県建設業協会理事会・臨時総会・静中理事会の結果報告
- 総会の進め方・経営者セミナーの開催
- 総会提出議案等
- (25年度事業計画・予算を含む)
- 業務改善委員会の見直し審議結果のまとめ
- 安全委員、広報委員の交替
- 県優秀施工者知事褒賞候補者の推薦

監事会

- 4/23(火) 平成24年度 決算関係監査
- 袋井建設業協会、袋井地区建設業協同組合、建設防災袋井分会、NPOつちおと

委員会等報告

- 正副会長会議
- 3/5(火)
- 第9回理事会上程議案
- 3/6(水)
- 緊急経済対策に係る中遠農林事務所との意見交換
- 災害協定に係る県西部危機管理局との意見交換
- 4/4(木)
- 県発注機関及び磐田労働署との意見交換
- 4/25(木)
- 平成25年度第1回理事会上程議案
- 労務委員会
- 5/2(木)
- 磐田農業高校とのインターシッピング打合せ(委員長)
- 安全委員会
- 3/18(月) 第5回委員会
- (24年度活動報告、25年度活動計画)
- 4/4(木) 安全祈願祭
- (小國神社) 58名参加

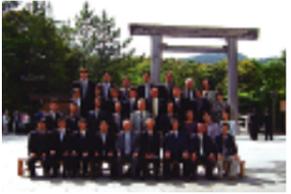


安全祈願祭



その他の行事

- 5/10(金) 内陸「フロンティア推進」コンシューム設立総会への参加
- 5/31(金) 6/1(土) 会員視察研修「伊勢神宮正式参拝ほか」



- 5/27(月) 静岡県建設業協会定時総会・協会長賞等表彰式



- 6/2(日) 社会貢献活動「浅羽海岸、松林管理保全活動」への参加



- 4/25(木) 第1回委員会活動計画
- 5/16(木) 第2回委員会安全大会、安全研修会、安全ハトリール、表彰
- 5/29(水) 講師団打合せ会
- (25年度技能講習会)
- 6/27(木) 第3回委員会
- (安全大会設置・リハーサル)
- 6/28(金) 第27回袋井地区建設業安全大会

広報委員会

- 3/19(火) 会報第127号の校正
- 4/1(月) 会報第127号の発行
- 4/23(火) 会報第128号の編集計画
- 5/29(水) 会報第128号の編集会議
- 6/14(金) 松井掛川市長と鈴木会長との対談
- 6/27(木) 会報第128号の編集

技術委員会 土木部会

- 3/19(火) 第4回部会
- (24年度活動報告25年度活動計画)
- 4/9(火) 第1回部会
- (技術者講習会打合せ)
- 4/18(木) 第2回部会
- (親子現場見学、技術者講習会)

技術委員会 IT対策部会

- 4/10(水) 第1回部会
- (平成25年度事業、パソコン実態調査結果、第1回IT講習会の開催)
- 5/14(火) 第2回部会
- (第2回IT講習会の開催、当面の課題)

環境・災害対策委員会 NPO部会

- 5/30(木) 第1回部会
- (事業計画、公共工事必要箇所調査の実施協議)

業務改善委員会

- 3/5(火)
- 事務事業の見直し事項を協会長へ答申
- テーマ① 委員会活動
- テーマ② 協会への意見・要望の対応
- テーマ③ 袋井地区建設業協同組合
- テーマ④ 事務局体制

静岡県建設業協会会長表彰

- 2条3号 岡野良隆 (株) 岡野建設(株) (森町)
- 2条4号 竹下宣行 (株) 竹初建設(株) (森町)
- 落合英親 (株) 落合組(株) (菊川市)
- 永年にわたり企業経営の要職にあり、建設業の健全な発展に尽力
- 4条1号 (株) 村田建設(株) (菊川市)
- 乗松建設(株) (磐田市)
- 経営の合理化、技術の向上に顕著な成果
- 4条3号 (株) 新組(株) (袋井市)
- 倫理の向上等に顕著な成果
- 4条5号 (株) アキヤマ(株) (磐田市)
- 社会貢献活動等に顕著な功績
- 5条 植田和浩 (株) 若杉組(株) (掛川市)
- 吉野克好 (株) 若杉組(株) (掛川市)
- 村松代志郎 (株) 永井組(株) (袋井市)
- 野崎正光 (株) 永井組(株) (袋井市)
- 花房弘吉 (株) アキヤマ(株) (磐田市)
- 職務に精励し、勤務成績が良好

静岡県中小建設業協会会長表彰

- 岡野良隆 (株) 岡野建設(株) (森町)
- 多年建設業に従事することにも団体の役員として、中小建設業の発展に顕著な功績

静岡県建設業団体連合会会長表彰

- 堀内 豊 (株) 堀内土木(株) (磐田市)
- 経営の合理化、技術の向上等を図り、建設業の改善・発展に顕著な功績

各種研修会・講習会

- 4/17(水) 監理技術者TV講習会
- 4/18(木) 技術者講習会「新工法等」
- 4/25(木) 刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育
- 5/14(火) 第1回IT講習会
- 「Windows XP & Office編」
- 5/16(木) 作業員のための熱中症予防教育
- 5/21(火) 経営者研修会
- 「七代目が語る「宮尊徳」
- 6/4(火) 足場の組立て等作業主任者能力向上教育
- 6/5(水) 6(木) 型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習
- 6/11(火) 13(木) 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習
- 6/18(火) 19(水) 足場の組立て等作業主任者技能講習
- 6/28(金) 安全研修会

各講習の様子



5/14 第1回IT講習会



4/17 監理技術者TV講習会



5/21 経営者研修会



4/18 技術者講習会

表彰

皆様の受賞を心よりお祝い申し上げますとともに、益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

建設業関係労務者国土交通大臣表彰

- 鈴木俊光 (株) 袋井建設業協会会長
- (株) 藤本組代表取締役
- 多年にわたり建設業に精励することにも、建設業関係団体の役員として建設業界の発展に寄与したことに對して、国土交通大臣表彰を受賞されました。
- 表彰式は、7月10日、国土交通省において執り行われました。

建設業協会関係表彰

平成25年5月27日、静岡労政会館において表彰式が挙行され、次の会社・個人が受賞されました。

二社全国建設業協会表彰

- 2条4号 金田英二 (株) 金田組(掛川市)
- 多年にわたり役員等の要職にあり、建設業の健全な発展に尽力
- 4条1号 (株) 樽林組(掛川市)
- 経営の合理化、技術の向上に顕著な成果
- 4条4号 正光建設(株) (森町)
- 労務・福利厚生生の改善に顕著な功績
- 5条 田代幸夫 (株) 堀内土木(株) (磐田市)
- 松井 貢 (株) 若杉組(掛川市)
- 職務に精励し、勤務成績が良好

プレートタイム

健康診断の結果表がきた。恐る恐るおそる封を切ってみると、残念な事に、五十歳を超えた辺りから異常値が増える事こそあれ、減る事はなくなった。確かに、これから訓練によって身体能力が飛躍的に伸びるといふ事はなく、放っておけばどんどん悪くなっていく。朽ち果てていく身体を如何に騙しだまし使い、運動をし、少しでも落ちていく角度を緩やかにさせるかが健康管理なのだろう。

この運動というものが曲者でなかなか習慣化しない。私の場合、朝四時に起きて一時間程度行っている。いやな事は、始めにやっつけてしまおう！ まだ、寝起きで頭がはつきりしないうちにやっつけてしまおうのだ。どんな運動をするかは、その日の気分から、また季節、天候、体調によって異なる。無理せず休養というのもメニューの中に入っている。無理せず、無茶せず体が動く限り続けていきたいと思う。(K.T.)



安全の道しるべ

第27回袋井地区建設業安全大会 6月28日(金) 午前9時30分～11時30分に開催され、120名が参加しました。



各地区の優良事業場等が表彰されました。



袋井建設業会館 2階大会議室に於て開催



安全講話 大塚製薬(株)静岡支店 小久江康人氏
「日頃から熱中症対策による労災事故の未然防止について」
時期的に感心があり、参加者は熱心に聴講しました。



安全の誓い 「がんばろう三唱」
堀内安全委員長の音頭のもと、参加者全員の力強い唱和でした。

平成25年度 安全研修会 6月28日(金) 午後1時～4時10分に開催され、130名が参加しました。



講演①「建設工事の安全対策について」
講師 静岡県交通基盤部 検査監 山口様



講演②「敷地内におけるガス管損傷事故の防止について」
講師 中部ガス(株)サービスチーム 高橋様 武田様



講演③「労働災害防止対策について」
講師 磐田労働基準監督署 安全衛生課長 内藤様



講演④「太陽光発電について」
講師 (株)アイビックサービス 代表取締役 石井様

平成25年6月25日(火)
建設業労働災害防止協会 静岡県支部 平成25年度安全指導者研修会
視察研修 駿府城公園坤櫓(ひつじさるやぐら) 建築工事現場
施工:清水・鈴与特定建設工事共同企業体

江戸時代には方位に干支を用いて、北を「子」として時計回りに割り当てていました。坤櫓は、城の中心から見て南西の方角の未と申の間に位置するため、そのように呼ばれるようになりました。



清水・鈴与JVの野々山氏による工事概要説明及び安全対策は、興味深いものでした。



県下の各分会から64名が参加し、卓越した職人技を熱心に見学しました。

石川建設(株) 倉石 (株)遠興 (株)鈴木工務店

第27回袋井地区建設業安全大会
優良事業場受賞者

安全標語入選作品
優秀賞 (株)若杉組 川口 哲也
「目でヨシ 手でヨシ 声でヨシ」
再度確認 指差呼称
佳作 (株)アキヤマ 佐藤 孝治
佳作 (株)新組 鈴木 一郎